

令和5年度事業報告

近年の気候変動に伴い増加している大規模自然災害は、全国各地に於いて水害や土砂災害が頻発しており、昨年は台風7号により県内でも大きな被害が発生し、会員企業は災害協定に基づき応急復旧作業に昼夜を分かたず迅速に対応するなど「地域の守り手」として極めて重要な役割を果たしてきた。

また、コロナ禍が明け経済活動は活力を取り戻しつつある一方、急激な円安等により経済の先行きは不透明となり、建設資機材や燃料価格の高騰は、私たち地域建設業にも収益面で悪影響を及ぼしている。

このような状況の中、地域建設業は地域の社会資本の整備や維持管理はもちろん、社会貢献活動や地域経済と雇用の下支えをする地域の基幹産業でもあることから、公共事業予算の安定的・持続的な確保及び発注等要望活動を行った。

将来に亘って建設業が地域の安全・安心を守る社会的使命を果たしていくためには次世代の担い手を確保していくことが不可欠である。若者が憧れを抱く建設業に変身するために新3K「給料が良く」「休日が取れる」「希望が持てる」に「かっこいい」を加えた新4Kの実現を目指して生産性の向上による長時間労働の是正や「休日月1プラス運動」の普及を継続して推し進めた。

建設業は社会に大きく関わる「当たり前の日常を守る仕事」という大変意義のある職種であることを身近に知ってもらう活動として、魅力発信事業に昨年度も力を入れた。当協会青年部と高校生・人材育成センターとの舗装体験実習、測量技術研修会、また子供から大人まで楽しめる園児への砂場製作及び建設機械乗車体験、女性部による子供たちへのけんせつ絵本の読み聞かせ等をとっとり建設女星ネットワークとも連携を図り開催した。

また、建設業が地域の安全・安心の重要な役割を果たす上で、「災害時の応援体制等」の協定を関係機関と締結し、加えて環境保全活動、美化運動等、様々な社会活動を行った。

研修関係は、入札参加資格者格付要綱の指定研修である「人権問題研修会」「安全管理研修会」「暴力追放研修会」を開催し、受講者の加点申請を行う等知識と技術の向上に努めた。さらに人材育成センターのオーダーメイド型在職者訓練として「レベルを学ぶ」・「TSを学ぶ」・「GNSS測量講習」を行った。

総務・経営、土木、建築各委員会では、要望事項を取りまとめ、県協会の委員会で積極的な協議を行い、国・県との意見交換に反映させた。

更に、会員の安全対策として関係機関の協力のもと、全会員による安全祈願祭及び災害防止委員会による建設現場安全パトロールなど労働災害防止に努めた。

今後も、一般社団法人鳥取県中部建設業協会は、地域を支える基幹産業として地域から信頼される業界団体を目指して邁進して行きたい。